

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公表番号】特表2018-532074(P2018-532074A)

【公表日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-042

【出願番号】特願2018-529717(P2018-529717)

【国際特許分類】

F 04 D	29/54	(2006.01)
F 04 D	3/02	(2006.01)
F 04 D	29/18	(2006.01)
F 04 D	29/66	(2006.01)
A 61 M	1/10	(2006.01)

【F I】

F 04 D	29/54	A
F 04 D	3/02	C
F 04 D	3/02	B
F 04 D	29/18	1 0 1 Z
F 04 D	29/66	B
A 61 M	1/10	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月10日(2019.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

どちらの種類のポンプが所与の用途に最も適しているかを判断するために、ポンプ内の血液の比速度の評価がしばしば必要になる。比速度は、所望の流量、上昇高さ（入口と出口との間の圧力差）、および回転速度といった、異なるパラメータの関数として計算される、標準化された変量である。この値を根幹として、ポンプの種類は、比速度が[0 - 1.2]の遠心式、比速度が[1 - 2.2]の斜流式、および前述の軸流式から選択することができる。ノモグラムによって、ロータで使用される翼または羽根のための所定の外形を有する、ポンプの種類を選択することが可能になる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

ロータの寸法は、以下の表の通りにすることができる。

【表3】

ロータ	値	可能な値の範囲
螺旋羽根を有する領域の長さ (mm)	25	10-35
螺旋羽根の数	4	2-5
ロータとケーシングとの間の隙間 (mm)	0.3	0.1-0.4
ロータの前縁における羽根の高さ (mm)	2.9	1-5
ロータの後縁における羽根の高さ (mm)	2	1-5
ロータの前縁におけるベータ角 (度)	47.5	10-90
ロータの後縁におけるベータ角 (度)	22	10-90
ロータの前縁におけるシータ角 (度)	0.2	0-50
ロータの後縁におけるシータ角 (度)	312	100-360
螺旋羽根の厚さ (mm)	0.2-1.4	0.1-2